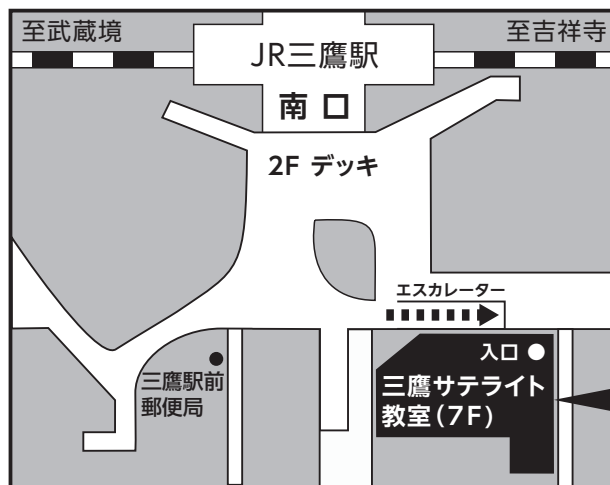


仏像を見る、考える

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	_____				
講座概要	曜 日	月曜日			日 程
	時 間	13:00～14:30			11月6・20日
	回 数	全5回	定 員	40名	12月4・18日
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			1月15日
講 師	本学教養教育学リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所史料情報管理チーム 生駒 哲郎 (いこま てつろう)				
	専門は日本中世宗教史、日本古文書学会編集・大会運営委員。立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程満期退学。山梨県身延山久遠寺、大田区池上本門寺、石川県羽咋市妙成寺などの史料調査委員を経て、現在、武蔵野大学教養教育学リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所非常勤職員・東京都渋谷区文化財審議委員。主要著書日本の名僧6『重源:旅の勸進聖』(共著 吉川弘文館)、『中世の寺院体制と社会』(共著 吉川弘文館)、『中世の寺院と都市・権力』(共著 山川出版社)、『山岳信仰と村落社会』(共著 岩田書院)など。				
内 容	仏像を美術史的な視点だけではなく、信仰の対象としても考える講座です。 人々は仏像を礼拝することで仏を観念しました。 現代人からみると 荒唐無稽な話のようですが、当時の人々は真摯に礼拝しました。 このような仏像に対する人々の受容の歴史を、仏像そのものの形、 文献史料、胎内納入物などから考察します。 今回は、仏・菩薩の化身といわれる高僧像を中心に検討いたします。				
	①11月 6日：聖徳太子 ②11月20日：日蓮 ③12月 4日：叡尊 ④12月18日：良源 ⑤ 1月15日：観音の化身像				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。